

(公財)京都市健康づくり協会	平成27年度経営計画 兼 経営努力結果
----------------	------------------------

基本事項

所管局課	保健福祉局保健衛生推進室保健医療課	本市出えん金	50,000 千円
基本財産/資本金	50,000 千円	本市出えん率	100.0 %

「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」に係る「今後の方向性」

方向性	自律化	目標年度	平成27年度
-----	-----	------	--------

「今後の方向性」に向けた基本的方針

業務面	<p>介護予防事業等協会の公益目的事業である中高年齢者の健康保持増進の推進に係るよりきめ細かい取組により、健康保持増進の魅力を実感し、持続的な施設利用につながる種々の事業を行う。このため、広報等の充実はもとより必要な医療機関との連携等も行い、きっかけづくりにとどまらず各種健康教室の充実等必要なフォローアップ体制を充実させる。併せて、関係機関や筋トレボランティア等と連携しながら、健康運動指導士の派遣等により地域での健康づくりの取組にも貢献する。</p> <p>よって、満足度の高い事業推進によるリピーターの拡大を図り、収益の維持・拡大も目指す。</p> <p>また、宣伝活動の強化等により青少年やホテル滞在の外国人等の健康保持増進に係る取組も実施し、収益の拡大を図る。</p>
財務面	<p>協会の持つ専門性をいかした受託事業等の拡大を図るとともに、自主事業等の充実・強化により、安定的な収益の確保に努める。</p> <p>併せて、人件費の削減を図るため勸奨退職を行うとともに、賞与の一部削減や給料表の見直し等も行い、諸経費の節減等と併せて、財務の適正化を目指す。</p>
組織面	<p>協会固有職員の一層の能力や資質の向上と責任執行体制の確保を図るため、役員等の事務取扱を減らし、責任あるポストに補職を命ずる等意欲と責任感の向上を図る。ただし、この場合に人件費増に機械的につながらないように配慮する。</p> <p>また、上記勸奨退職の実施と合わせ、アルバイト配備の削減等無駄のない人的配備を行う。</p>
その他	特になし

当年度の取組目標に対する意見

所管局	<p>施設PRの充実や夜間定期利用の継続等により、利用者数の向上を図る必要がある。</p> <p>また、経費削減には限界があることから、介護予防に関する利用者の把握に努め、より一層事業の質の向上を図り、自主事業による安定的な収益の確保に努めるとともに、受託事業について更なる事業の効率化に努めていく必要がある。</p>
-----	---

当年度の取組に対する総括(※)

団体(※)	<p>京都市からの委託料や伏見港公園プールの再開に伴うプール利用者の減少等があったものの、賞与の削減や昇給停止措置などの自助努力と自主事業の拡大により、概ね収支の均衡を図ることができた。</p> <p>今後、更なる収入増と経費節減による安定経営が継続できるよう努めていく。</p>
所管局(※)	<p>財務面では、受託事業の収入が減少し、収益が悪化している中、人件費等の削減により、昨年度に比べ、単年度赤字を縮減した。</p> <p>事業面では、類似施設が競合している中、前年度から減少したものの、プール・ジムの利用者が10万人を超え、多くの利用者の施設利用に繋がった。</p>
外郭団体総合調整会議(※)	<p>収益減少に合わせた経費節減に努めた点は評価でき、引き続き公益財団法人に求められる収支相償の確保に向け取り組んでいただきたい。安定した運営を行っているが、民間と競合する事業もあり、利用者ニーズを把握しながら、今後の事業の在り方を検討する必要がある。</p>

(1)業務に関する取組

目標「利用者数の増加を図り、収益の維持・拡大を目指す」

中期経営計画 における取組	<p>高齢化が進む中、健康寿命の延伸に係る関心の度合いは高いものの、実際に各個人が持続的な健康保持増進の取組を実施することはなかなか困難である。</p> <p>質の高いサービスの提供により、一人でも多くの人々がトレーニングジムやプール、あるいは各種健康教室等を利用し、介護予防等に係る取組を楽しく、かつ、長くじっくりと行えるよう支援することは協会の使命であり、健康運動士や医療スタッフ等が連携し、きめ細かい事業を行う。</p> <p>併せて、青少年やホテル滞在の外国人等の施設利用の拡大も図る。</p>
当年度目標	利用者数の増加により収益の維持・拡大を目指す。
当年度結果 (※)	伏見港公園プールが4月にリニューアルオープンした際、1箇月間の無料開放がされたため、その影響が懸念されたが、これまでからのサービスを提供した結果、利用者離れを最小限に抑え、微減にとどまった。

指標①	プール・ジム利用者数				(単位：人/年)			
中期経営計画	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成29年度		
	—		100,000		101,000	102,000		
実績	目標	見込	実績(※)	目標	見込	実績(※)	—	
	100,000	—	106,459	100,000	—	103,778		

指標②	定期券購入者数				(単位：人/月)			
中期経営計画	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成29年度		
	—		480		500	530		
実績	目標	見込	実績(※)	目標	見込	実績(※)	—	
	450	—	461	480	—	457		

(2)財務に関する取組

主要財務数値							(単位:千円)
	平成26年度			平成27年度			備考欄
	予算	見込	実績(※)	予算	見込	実績(※)	
経常収益	238,913	—	214,690	238,480	—	210,479	
経常費用	236,340	—	217,855	237,936	—	211,056	
当期経常増減額	2,573	—	△3,165	544	—	△577	
当期正味財産増減額	2,573	—	△1,298	544	—	△577	
資産合計	138,377	—	133,188	138,824	—	131,035	
負債合計	48,201	—	44,458	48,105	—	42,881	
正味財産	90,175	—	88,731	90,719	—	88,154	
うち累積損益額	40,175	—	38,731	40,719	—	38,154	

目標「収益の維持・拡大」	
中期経営計画 における取組	<p>専門性を生かし、受託事業の拡大や自主事業の充実・強化を図りつつ、財務の一番大きな課題である人件費の削減等に引き続き取り組む。</p> <p>平成27年度は(公財)京都市都市緑化協会との連携により、梅小路公園を拠点とした健康づくり事業を具体化するとともに、筋トレ教室等の定員増や回数増を図る。</p> <p>人件費の削減については、年度末に新たに勸奨退職を行い、人員削減の協力を求めるとともに、賞与の一部削減も行う。</p> <p>また、正職員の給与体系の見直しを行い、協会独自の給料表の策定等を行う。また、アルバイトの採用等についても慎重に行い、人員配置を適切に行う。</p> <p>これらの取組により、経常費用の削減について下記の目標値を達成する。</p>
当年度目標	<p>受託事業及び自主事業の充実・強化について、引き続き着実に実施するとともに、年度末の勸奨退職の実施、賞与の一部削減及び給料表の改正等、人件費の削減に向けた準備を行い、平成28年度以降の新たな協会運営がゆるぎないものになるよう万全を期す。</p>
当年度結果 (※)	<p>全ての職員の昇給を停止し、期末勤勉手当を削減することにより財務状況の改善を図ることができた。</p> <p>平成28年度からの5年間の指定管理の実施に向け、着実に業務を推進する基盤確保ができた。</p>

指標	経常費用					(単位:千円)	
中期経営計画	平成26年度			平成27年度		平成28年度	平成29年度
	目標	見込	実績(※)	目標	見込	実績(※)	
実績	236,340	—	217,855	214,000	—	211,056	—

(3)組織に関する取組

目標 職員の能力及び資質の向上並びに職員数の適正化	
中期経営計画における取組	<p>京都市からの職員の派遣が廃止され、補助金等も一切受けない体制が続く今日、協会固有職員の一層の能力及び資質の向上が求められる。</p> <p>平成27年度は、これらの職員の更なる能力及び資質の向上と責任執行体制の充実強化を確保するため、遅くない時期に役員等による事務取扱を減らし、責任あるポストに固有職員を配置する等意欲と責任感の向上を図る。</p> <p>また、平成27年度末に勧奨退職の実施により希望退職を求めるとともに、アルバイトを含め適切に人的配置を行う。</p>
当年度目標	遅くない時期に、固有職員の課長及び係長への昇任を行い、更なる能力等の向上を図るとともに責任ある執行体制を確保する。
当年度結果 (※)	<p>執行体制の充実強化を図るため、役員の手事務取扱となっていた指導課長及び管理係長職に、平成27年7月1日付けで昇任させ、それぞれが職務に相応しい資質や能力の向上に努めている。</p> <p>また、勧奨退職については随時実施したものの、希望者が存しなかった。経営改善の必要性はこれらの取組を通じて深まり、適切な人員配置を実施している。</p>

指標	職員数 (常勤)					
	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成29年度
中期経営計画	—		13		10	10
実績	目標	見込	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	14	—	14	13	—	13 (年度末1名退職)